

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日:令和5年3月31日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・隨時対応型訪問介護看護			
	<input type="radio"/>	小規模多機能型居宅介護	<input type="radio"/>	介護予防小規模多機能型居宅介護
		看護小規模多機能型居宅介護		
事業所番号	4490300094			
事業所名	小規模多機能ホーム 小祝			
法人名 代表者名	株式会社 リーフ 代表取締役 阿部優喜 			
事業所所在地	(〒871-0078) 大分県中津市小祝525番地277			
担当者名	佐藤真里子			
連絡先	電話	0979-23-7000	FAX	0979-24-7007
	mail	koiwaisyoukibo@gmail.com		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和5年3月22日
-----------------	-----------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・隨時対応型訪問介護看護

※要提出 ・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)

・(別紙2-1) スタッフ個別評価事業所にて保管

※要提出 ・(別紙2-2) 事業所自己評価公表

・(別紙2-3) 地域からの評価事業所にて保管

※要提出 ・(別紙2-4) サービス評価総括表公表

看護小規模多機能型居宅介護

・(別紙3-1) 従業者等自己評価事業所にて保管

・(別紙3-2) 事業所自己評価事業所にて保管

※要提出 ・(別紙3-3) 運営推進会議における評価公表

小規模多機能型住宅介護「サービス評価」 総括表 令和4年度（2023年3月）

法人名	株式会社リーフ	代表者	阿部 優喜	法人・事業所の特徴	「小祝」と名称にあるように地域との関わりを大切にし、運営推進会議を通じて情報を収集し、地元行事への参加を支援することで、利用者の社会生活の継続に努めています。一日でも長く自宅で過ごすため、運動機能向上体操を実施し、毎月の体力測定により、評価に繋げています。				
事業所名	小規模多機能ホーム小祝	管理者	佐藤真里子						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	5人	0人	2人	0人	0人	3人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	コロナ禍も支援の必要な方の力になりたい。閉じこもりを防止し運動不足にも対応して地域の健康増進に努める。	コロナ禍でも事業所の役割を果たすために感染対策を継続しながら積極的に新規利用者の受け入れや相談に応じた。	コロナ禍で濃厚接触者として自宅待機を余儀なくされ閉じこもりになる事もあり、そのような方にも支援が行われると良いですね。	職員の評価をとりまとめた事業所自己評価を振り返り課題を把握する。ご利用者に寄りそったサービスに繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症が落ち着き次第面会を再開し、イベント等企画を行い、立ち寄りやすい環境に戻したい。	この一年間も感染予防のため外部との直接的な関わりは少なかった。窓越しの面会が出来てご本人の表情を見る事でお互いに安心できた。	コロナが5類となり施設内に入ることが可能になると安心して交流が出来るようになりますね。	地域の方が立ち寄りやすい施設に戻せるようにイベント等の企画、再開をおこなう。
C. 事業所と地域のかかわり	感染状況が落ち着いている時は積極的に参加し地域の健康増進に努めたい。	感染の落ち着いている時は積極的にサロンでの健康教室を行うことが出来ましたが週一体操教室には参加出来なかった。	感染対策を行ないながら、交流を再開したいと考えております。	サロンや週一体操での健康教室を再開し地域の健康増進に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染症が落ち着き次第、感染対策を継続しながら地域との交流を再開したい。	感染防止のため屋外でのイベントの参加は積極的に行えた（中津祇園・花火）天気の良い日は、施設前の港まで散歩に行き外気浴に努めた。	地域のイベントが再開され感染対策を行ないながらも積極的に参加出来ると良いですね。	地域でのイベントにはご利用者と共に参加し交流に繋げる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	書面による開催であっても、施設内での活動の様子が分かり易いように瓦版の内容や写真を充実させる。	本年度も感染予防のため書面による報告のみの推進会議となつたが、最後の会議は対面での開催が可能になり直接貴重なご意見を頂く事が出来ました。	他の民生委員の方も推進会議に参加頂き地域の高齢者情報の把握と一緒にを行い、施設の職員さんにも見守りの協力をお願いしたい。	運営推進会議のメンバーを充実させる。地域の高齢者の見守り等の協力をを行い地域での活動の再開を図る。
F. 事業所の防災・災害対策	感染状況を見ながら、防災訓練の際に地域の方の協力をお願いする。地域の防災講演も参加したい。	防災の避難訓練は年2回の実施はできたが、感染予防のため地域の方の参加依頼は行なっていない。	避難訓練の際には、地域の防災士の方のご指導も頂いては如何でしょうか。	新年度は、地域の方の参加や協力を依頼して防災訓練を行いたい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月19日(13:00~14:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	常勤9名、非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画	コロナ禍で新規利用者との面談が難しいため書面での情報と異なる場合があるので職員間の情報共有を図りながら支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ネット等の利用で画面を通じて面談を行う事ができる時もあったが、それでもADLに関しては情報が不足しており利用開始してからの情報収集が主になりました。

◆今回の自己評価の状況

		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	7	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	7	3	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	4	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・コロナ禍においても可能な限りご本人と面談を行い、入院中であればソーシャルアシスタントより助言を頂き情報収集を行いニーズの拾い出しをしている。また、モニターを使用してご本人の表情を読み取ることが可能になった。 ・本人が慣れるまでの間は、家族と連絡を取り利用状況を送迎の際に伝えて変更が必要であれば臨機応変に対応している。また、なじみの利用者ができる様に座席の配慮を行っている。 ・サービス提供開始までに家族やご利用者に関わる周囲の方からの情報も含め検討している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・病院等退院カンファレンスの参加を依頼してもコロナ禍のため行っていない時もあり情報が少なく違いがあることもある。 ・認知症がある場合は、ご本人の意思は読み取るのに時間がかかるため、利用当初は、ご家族本位になることがある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
送迎時に家族との会話の中から、本人の不安な気持ちや家族の意向の変化に気付けるようにコミュニケーションをとる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和5年 1月19日 (13:00~ 14:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー 常勤9名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	10人	0人	0人	10人

前回の改善計画	ご利用者本人の理解が難しいため目標達成までのプロセスを職員が理解し伝えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員がご利用者に意味をつたえながら行う支援を試みたが理解して頂くのは難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	1	9	0	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	0	10	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	10	0	0	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	4	6	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の目標や当面の目標の確認はプランにて出来ている。達成するための支援方法については、会議で意見交換し共有できています。	
・本人の目標に添って機能訓練メニューを作成できている。	
・定例会議や申送りで支援内容の振り返りも行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人のゴールやADLはわかつているので機能訓練の実施は可能であるがその日のやる気や体調により実施が難しい時がある。	
・認知症が高度になるとご本人の意思をくみ取る事が難しくなってくる。	
・本人の意欲低下により、簡単安心な関わりになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自分の担当のご利用者の目標達成に一緒に関わりあうよう向き合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和5年 1月19日(13:00~ 14:00)
3. 日常生活の支援	メンバー 常勤9名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画	訴えの多いい方ばかりに偏ることなくそれぞれのご利用者に向き合う時間を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	それぞれの利用者に向き合うための時間をとるようにそれぞれの職員が気を配る事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	10	0	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	4	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	0	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	4	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	5	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・その日の家族からの連絡や施設でのバイタルチェックの結果にあわせて入浴や排泄の対応が出来ている。食事形態の変更も合わせて行っている ・個別機能訓練中や屋外歩行中のリラックスしている時に本人の気持ちを傾聴している。関わりの中で生活歴や思いなどを理解出来るようにしている。 ・本人の体調の変化は、看護師に伝えて即時に対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日頃から訴えの多い利用者に関わる事が多くて訴えの少ない方への関わりが少ない事がある。 ①に関しては10個以上把握できている方は少ないが、昔を振り返らせるのも辛い利用者もいる。 ②は、職員間での介護技術や差があり統一が難しい部分もある。 ③は、訴えの多い利用者様への対応に追われて穏やかな方の声が職員に届いていない時もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員間での介護技術に差が出ないよう支援の統一を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月19日(13:00 ~14:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	常勤9名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画

感染者数の状況や感染対策を踏まえた交流を試行錯誤して行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域への関わりや交流は、感染対策を行なっていても状況が不安定であるため難しい時期と良い時期があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	0	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	0	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	1	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	5	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・生活スタイル・人間関係は利用者自身や家族から聞き取りができる。
- ・送迎の際にご近所の人たちに会った時には、ご本人も含めて会話する機会を持っている。
- ・地域でのサロンや健康教室の参加は、徐々に再開されており地域のボランティアのお弁当を頼む事もあり良い関係性を保っている。
- ・訪問看護ステーションと連携を継続し施設サービス以外の時間も家族との生活を続けるためにリハビリに取り組んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍のため対面での地域の方との交流は出来ていない。
- ・利用者それぞれの民生委員の把握は出来ていない(小祝地域以外)
- ・ADLの低下、認知症が重度になり地域との関わりが切れている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ご家族は、地域との関わりを望むよりも遠慮する方が多いので、施設での交流を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和5年1月19日(13:00~14:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー 常勤9名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画

ご利用者の日中独居や認知症のために見守りの必要な方が増えてきている。通いサービスの利用希望も多くなっているので訪問サービスの内容を充実させて在宅生活の継続に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

訪問サービスの充実を検討するも自宅で一人で過ごす事が難しい利用者がほとんどで一部の方に対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	6	2	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	4	6	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 介護サービスだけでは支援が行き届かない時は、有償ボランティアの活用や地域のボランティアによる給食(お弁当)も利用している。また、中津市の配食を利用し施設サービスのない日の安否確認に繋げている
- 福祉用具、訪問看護を活用して在宅生活の継続に繋げている。
- 急な配食や、泊り利用の相談にも対応している。
- 在宅での支援が難しくなってきてるご利用者家族には、早めに住み替えの提案を行っている。
- 自宅での入浴が希望の方の支援もおこなっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 必要に応じて通い・泊りのサービスを提供し臨機応変に対応出来ているが1日定員15名に余裕がない事が多いため定期での通いサービスの追加が困難になってきた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

通いサービスの利用希望も多くなっているので訪問サービスで対応出来る支援も検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成5年1月19日(13:00~14:00)
6. 連携・協働	メンバー	常勤9名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画	コロナ禍の為と感染拡大防止で面会や他来訪者の施設内の立ち入りを制限しているため地域の方に来訪して頂く機会はないので感染対策を講じて施設外での交流を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	市中感染の状況が厳しく、本当に1ヶ月くらいの落ち着いている時に地域サロンに参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	6	2	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	5	4	0	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	5	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	5	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネは最小人数での対面の担当者会議を行い他のサービス機関との連携を行なっている。また、リモート会議での対応も取り入れている。 運営推進会議は書面での開催は出来ており書面によるご意見等を頂き施設運営に反映させている。 サロンひだまりでは、「脱水症」について職員が講話する事で地域の健康増進に努めている。 中津市の南部地区ネットワーク協議会に出席し地域住民の情報交流に努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため外部の方の施設訪問は、控えて頂いているためイベント等で訪れる方はいない。 コロナが落ち着いている時期がほとんど無く、常に感染対策のため地域の活動への参加は難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染対策を行ないながら、地域の感染状況に合わせて交流を試みる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成5年1月19日(13:00~14:00)
7. 運営	メンバー 常勤9名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画	文章での会議の開催においても率直なご意見を頂けるように改善する。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染状況が落ち着く間もなく、次々に感染が市内に起こるため地域との協働は出来ていない。

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)	
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	7	3	0	10	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	0	0	10	
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	0	0	10	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	6	0	10	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ユニット会議、全体会議でスタッフは、意見を出し発言出来ている。管理者は、意見に対して管理者会議で社長、施設長に相談し答えられるようにしている。 苦情があった場合は管理者が直接相手方に詳しい事情を聴き検討会議を行い再発防止に努めている。 利用者や家族の意見は、連絡ノートや電話で聞く事で良いサービスに繋げています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方からの意見や苦情を運営推進会議で頂き運営に反映させていましたが、今年も書面での開催の為意見が少なく不安に感じることがある。 地域との協働は、コロナ禍のため感染対策を行っていても不安がある。 地域の方も、施設に迷惑を掛けたくないと遠慮する事が多い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域の方が気軽に相談できる様にする

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和5年1月19日(13:00 ~14:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー 常勤9名 非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	2人	0人	10人

前回の改善計画	感染状況が落ち着いて参加出来る機会があれば勤務調整を行い参加する。また、パート職員の参加が出来る日中開催の研修を選択する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ほとんどの研修がzoomと併用となりリモートのため移動時間がないためパート職員の参加も可能となつた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	3	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	5	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	7	1	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2	6	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所内の全体会議の際に行う研修は、年度初めに内容を決めて確実にできている。 ・外部研修は、ファイルにて回覧し積極的に参加出来ている。 ・些細なことでもヒヤリハットを記入しカンファレンスを行うことで事故に繋がらない様に気付ける事ができる。 ・Zoomでの研修がほとんどで感染の心配なく参加できる。また、移動時間がなくて良い。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会には参加する機会が少ないと感じ、感染状況が安定しない為開催も減っている。 ・外部研修は、一部の職員となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
誰もが積極的に研修参加するように声掛けをおこなうようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成5年 1月 19日 (13:00~14:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	常勤9名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	1人	0人	10人

前回の改善計画	成年後見制度についてはいつでも活用出来るように勉強をしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度の研修は継続して理解を深める。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	8	2	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	6	4	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	2	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月、身体拘束防止委員会を行い気になる事例に対する関わり方について話し合い実践している。 ・成年後見制度の対象者は、現在はいない。 ・個人情報については、マニュアルを遵守している。	

できていない点	200字以内で、できっていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度に関しては活用の対象者が現在はいないため。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度についてはいつでも活用出来るように研修を継続する。	